

ワークショップ進行シート

作成日： 2014年 7月 24日

タイトル：ちがうっておもしろい！ ～異文化をめぐる冒険～

ファシリテーター（グループ）： 異文化理解チーム(nuis)

1：本ワークショップの要旨

ちがうっておもしろい！世界にもそして日本にも価値観やコミュニケーションスタイルは星の数ほどある。事例を使って、世界存在する「違い」をどう受け入れるべきかについて考えたい。また、視点をクラスや家庭の中へうつした時、自分と周りのちがいを改めて発見し、そこから自分の身近にある「異文化」に気づくことで、参加者と一緒に「異文化」を旅する楽しさを共有したい。

2：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

多様な見方や考え方に違いは、私たちが日々経験したり見たり聞いたりして身につけている「個人」に基づいて形成されている。そこで、相手にギャップを感じたとき好意的に受け入れるために、それぞれの捉え方を否定するのではなく、あえて一步退いて視野を広く持つことでその人の行動の意味を考え、相手の文化に良い点・悪い点があることを知ってほしい。そして、客観的視点から見たときに自分の文化にもそのような点があることに気づいてもらい、無知や偏見・自分のあたりまえを相手に押し付けることをなくすことに繋げたい。

3：本トピックをとりあげる理由

それぞれの捉え方を否定するのではなく、なぜそう捉えるのかを深めていくことが大事であるということ。そして、相手に対してのギャップを好意的に受け入れようとする努力に無駄はなく、もし良いイメージを持ち直すことができなかつたとしても広がった世界はおもしろいと感じることができるかもしれないという考えから。

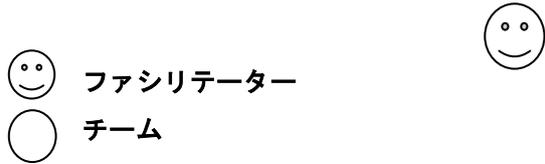
4 : 活動過程

(使用時間 : 90分 参加人数 : 20~30人)

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・説明・動きなど	ねらい	使用する教材 ・備品	予想される反応・その他、注意事項
導入 : 起 25分)	あいさつ アイスブレイク (チーム分け) ・一枚の写真でお はなしづくり	<p>・生徒たちに目を閉じさせ、一人ひとりの額に何色かのシールを貼る。</p> <p>・グループができたあとに、自分の仲間が見つかるまでの気持ちや自分の行動を振り返ってもらおう。</p> <p>写真と白紙をチームごとに配り、その写真を見て、お話をつくって白紙に書いてもらう</p> <p>各グループで、各自がつくったお話の共有</p> <p>話したり聞いたりする中で感じたことを全体で話し合う</p> <p>「どのようなお話になりましたか」</p> <p>「お話を聞いて気づいたことはありましたか」</p>	<p>ねらい</p> <p>同じ情報を見たり聞いたりしても捉え方が違うこと実感。</p>	<p>シール</p> <p>写真 A4 白紙</p>	<p>予想される反応・その他、注意事項</p> <p>4~5人のチームになるように調整しておく。</p>

<p>展開 : 承 (15分)</p> <p>休憩 (10分)</p>	<p>おはなしづくりの発展</p> <p>ものの見方・考え方に影響を受けるものとは何か考える ちがいはどこからくるのかな?</p>	<p>わたしたちに影響を及ぼしているのは何かについてのブレーストーミング (チームごと)</p> <p>「同じものを見たり聞いたりしても違ったように捉えるのは何故でしょうか」 「気分や過去の体験によって捉え方は違うかも」 「その違いに影響するのは何でしょうか」 「何か出来事があったときどうすれば情報に悪影響がでないかな」</p>	<p>多様な見方や考え方の違いは、私たちが日々を経験したり見たり、聞いたりして身につけている個人の捉え方にある</p> <p>それぞれの捉え方を否定するのではなく、なぜ、そう捉えるのかを深めていく</p>	<p>模造紙 ペン</p>	
<p>発展 : 転 (25分)</p>	<p>転校生がやってきた!</p> <p>教室における異文化体験。ちがいをどう受け入れるべきかについて考える</p>	<p>外国人転校生がやってきた情景を紙芝居などで提示。間に設問を用意し、自分ならどう思うか、どのように行動するかについて考えてもらう。</p>	<p>異文化接触の生む摩擦について知ったうえで、民族や文化の違いを認め、尊重しようとする気持ちを持つ</p>	<p>模造紙 ペン 紙芝居</p>	
<p>まとめ : 結 (10分)</p>	<p>ワークショップの内容を振り返り、違っていて面白いということ伝える。</p>	<p>ちがいとは何か、ポジティブなイメージでまとめる</p>	<p>全体を通して「違い」を面白く感じてもらう</p>	<p>パワーポイント</p>	

5：会場のセッティング



6：使用する教材

模造紙 ペン 写真

7：参考にした資料

- ・「異文化コミュニケーションワークブック」 八代京子他 著（三修社 2001年）
- ・「ポーポキ、友情って、なに色？ Popoki, what color is friendship?」 ロニー・アレキサンダー著（株式会社エピック 2009年）
- ・「私と世界 6つのテーマと12の視点」 綾部真雄 編（メディア総合研究所 2011年）
など

8：その他

- ・おおよそのねらいは軸として残しますが、参加者の年齢などに応じて内容は変更していきます。
- ・各ファシリテーターが生徒一人一人の考えや発想を柔軟に引き出せるように意識していきます。